

記入上の注意

- ① 日本語で記入  
② 自筆のこと

## 2023年度 私費外国人留学生特定奨学生申請書

( 大学院博士後期課程 )

1. 氏 名 (フリガナ) \_\_\_\_\_  
(ローマ字) \_\_\_\_\_

2. 国 籍 \_\_\_\_\_

3. 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 (満 \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ カ月)  
(年齢は、2023年4月1日現在で記入のこと)

4. 現 住 所 〒 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

電話番号 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

5. 在籍大学 \_\_\_\_\_ 大学院 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ 課程 \_\_\_\_\_ 年次 \_\_\_\_\_  
(2023年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日現在) ☐ 理系 ☐ 文系

入学年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 入学

所 在 地 〒 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ 電話番号 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

## 6. 学 歴

教育機関 の種類	学校名および所在地	修学 年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位 または資格等
高等学校 から	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		
	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		
	学校名 所在地	年	入学 _____ 年 _____ 月 卒業 _____ 年 _____ 月		

## 7. 日本語の学習歴

(1) 学習機関名 \_\_\_\_\_

(2) 学習機関 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月から \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月まで ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ カ月間)

## 8. 職 歴

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

日本への入国年月 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

近影のカラー写真  
3cm×4cmの上半身  
を貼付すること。  
裏面に氏名・国籍  
を記入のこと。

## 9. 家庭状況

氏 名	続柄	年齢	職業	年収額	住 所
	父			万円	
	母			万円	

- ・年収額は、見込額も含め、必ず1年間分（12ヵ月分）の概算額または予定額を記入すること。  
無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

## 10. 経済状況（2022年月額平均を記入）

## ・次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。  
なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額のコличествоは、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 \_\_\_\_\_ 円

①仕送り額 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円

(仕送り者との続柄および職業) 続柄 \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_ (仕送り者の年収額) \_\_\_\_\_ 円

②アルバイトの収入額 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円 職種 \_\_\_\_\_

③アルバイト以外の収入額 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円 預金引出・配偶者の収入・その他 ( \_\_\_\_\_ )  
(該当するものに○印を付すこと)

④奨学金 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円 名称 \_\_\_\_\_

受給期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 (終了20 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月)

(2) 1ヵ月の平均支出額 \_\_\_\_\_ 円 (生活費を計上のこと)

①住居費 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円

自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他 ( \_\_\_\_\_ )  
(該当するものに○印を付すこと)

※住居の広さ \_\_\_\_\_ 間 \_\_\_\_\_ 畳 (㎡)

②授業料その他大学所定の納付金等 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円

③食費 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円

④その他の支出額 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円 (交通費等日常経費を具体的に記入のこと)

内訳項目	_____	月額	_____ 円
	_____	月額	_____ 円
	_____	月額	_____ 円
	_____	月額	_____ 円
	_____	月額	_____ 円

## 1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2023年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

\* ②の場合は必ず理由を記入のこと ( )

2022年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

\* ②の場合は必ず理由を記入のこと ( )

## 1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

\* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団 体 名 \_\_\_\_\_ 月 額 \_\_\_\_\_ 円

受給期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2023年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたいと申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2023 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

申請者氏名 \_\_\_\_\_

申請者署名 \_\_\_\_\_

(様式 3-2) -1 記入上の注意: ①日本語で自筆のこと②自分の言葉で書いて下さい

(大学院博士後期課程)

大学名： 大学院 研究科 専攻

国籍

氏 名 \_\_\_\_\_

## 留学の目的について

## 修了後の計画について

研究主題および研究計画・内容等について

(指導教員名)

(研究主題)

(研究計画・内容等)

## ① 学会報告等

※ 著者名は全員の氏名を記載し、発表者に下線を引く。

発表年月日	発表形式	報告等の題目(著者名)	発表学会名等
(例) 2022.3.10	口頭	〇〇に関する研究(氏名1,氏名2,氏名3)	第50回〇〇学会大会

② 公表論文等

※ DOIはオンラインジャーナルでは必須。それ以外では任意。

---

著者名、論文等の題目、学会誌名、巻(号)、頁、出版年、DOI

---

(例) 氏名1, 氏名2, ○○に関する研究, ○○学会誌 50(1), 123-130, 2020, 10.1234/ja567890x

---

2023 年度

( 大 学 院 博 士 後 期 課 程 )

## 推 薦 理 由 書

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

フリガナ				国 籍		
氏名				生年月日	年	月 日生
大学名	大学大学院			入学年月	年	月 入学
研究科	研究科	専攻	専攻	年次	年次 (2023年度)	
推薦理由 (母国の学校から編入された留学生の場合、その学校の成績について推薦者の判断を併せて明記して下さい) ①出願者の学力、②独創性、③将来性について具体的にご記入ください						
推薦者 (指導教員等)				2023 年 月 日		
所属機関						
職 名						
氏 名						印



2023 年度

( 大 学 院 博 士 後 期 課 程 )

## 学位取得の可能性について

(推薦理由書と合わせてご提出くださいますようお願い申し上げます。)

(1) あなたはこの申請者をいつからご存じですか？

( 年 月 から 約 年 ヲ月 )

(2) ご指導なさる立場から、この申請者をどう思われますか。

下記の設問について当てはまる記号に○をつけてください。

(A=はい B=どちらともいえない/わからない C=そうでもない)

- a. 自分の意見を進んで発表する ( A B C )
- b. 指示がなくても自主的に課題を進める ( A B C )
- c. 他者の意見も自由に聞き、必要なら積極的に採り入れる ( A B C )

(3) 下記の質問に対し、線上の適当と思う位置に○印をつけてください。

a. この申請者は、予定の期間内に、博士号を取得できると思われますか。

非常にむずかしい

必ず取得できる

I-----I-----I-----I-----I

b. この申請者の研究が公表されると、当該学会でどの程度の評価が得られると思われますか。

非常に低い評価

非常に高い評価

I-----I-----I-----I-----I

c. この申請者は、将来国際交流の面で有為な人物となると思われますか。

非常にむずかしい

非常に確率が高い

I-----I-----I-----I-----I

推薦者（指導教員等）

2023 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名

